



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：ガス輸出国フォーラムの開催

(4月10日付現地紙)

1. 4月9日、第6回ガス輸出国フォーラム(GECF)が、カタール(ホスト国)、アルジェリア、ナイジェリア、ボリビア、ブルネイ、エジプト、インドネシア、イラン、オマーン、リビア、マレーシア、ロシア、トリニダード・トバゴ、UAE、ヴェネズエラの参加を得てドーハで開催され、価格、市場、インフラ、産出・消費国双方の問題点が議論された。
2. ホスト国カタールのアッティヤー副首相兼エネルギー工業大臣は、「ガス版カルテル」構想が検討されているとの報道があるが、これは間違いである。「グループ」又は「クラブ」という言葉が適切である。我々には議論すべき点が多いが、重要なのは生産国と消費国の関係の維持である。なぜならば、どちらかが欠けると、もう一方は存在しないからである。又、ガス消費国は、ガス生産国のグループ化を心配する必要はない。これは、マーケットを搾取するものではなく、ガス産業の発展を目指したものである。GECF諸国のより緊密な関係強化と発展を目指した検討を行うためのハイレベル委員会を立ち上げ、次回の会合までにタイムフレームとタスクについて、ロシアが議長になって検討することが決定された」と語った。
3. アルジェリアのヘリル・エネルギー大臣は、「ガス版 OPEC を創る為にはガス市場を創ることが必要であるが、現在はごく小さな LNG 市場があるだけである。今後、10 - 15 年間は、このような組織の設置は技術的に困難と考える」と述べた。
4. ヴェネズエラとイランはガス版 OPEC の設立をリードしており、イランのハマーネ石油大臣は、「ガス版 OPEC はガス輸出国全てに利益をもたらすものと考え」と述べた。
5. 次回の GECF 会合は、2008 年にモスクワで開催されることになった。